



中右 憲利 議員
(令和と新風加西)

防犯灯の維持管理負担の見直し



問 防犯灯の設置及びメンテナンスについて。

答 防犯灯は区長様の要望により市が設置しています。メンテナンスや地元調整は、防犯灯設置に伴う確約書を区長様より提出していただき、設置日以降のLEDの点灯、維持管理や民家等への影響等の苦情解決も、町で対応していただいている状況です。

問 相談のあった自治会では、約10年前に設置された防犯灯について確約書を書いた覚えのある人はなく、市にも保管されていないとのこと。市はいつから

そういうルールを決めたのか。

答 10年前に設置した防犯灯については、3,452基を蛍光灯からLED灯に交換し、その際に区長様より確約書を提出していただいておりますが、数が多いため十分な周知徹底ができなかったと考えています。昨今、市内各町から修繕の相談が多数あり、各町の財政事情が厳しいことは理解しています。市長も防犯灯の交換について言及しており、LED灯の維持管理の負担について見直す時期になっていると理解しています。

問 LED灯の費用負担について考え直すとは。

答 地元負担をお願いしていましたが、市が交換することを検討していくということです。

問 防犯灯の維持管理について市が費用を負担することの

周知について。

答 代表区長会や区長会総会などで周知できればと考えています。ただし、確約書という形を取るかどうかは別にして、防犯灯に関する地元でのトラブル、苦情等については引き続き地元で解決していただくようお願いしたいと考えています。

意見 確約書のような重要な書類はスキャナー等でデジタル化し、町ごと、年度ごとに整理してすぐに出せるようにしていただきたい。

■その他の質問項目

- ・危険空き家対策について
- ・し尿収集業務委託について
- ・脱炭素先行地域の全体像について
- ・中国道北条バス停の階段の手すりについて



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

統合する学校の中身の検討を強く要望



て、教員や子供たちの思いも聞き取りたいと考えます。

問 北条中学校と統合中学校の学校方針は。

答 互いの良さを認め尊重し、切磋琢磨しながら共に高みを目指し、どちらの学校も地域に愛され、地域とともにある中学校を確立したいと思っています。

問 自転車通学に関しての調査は。

答 新たに通学路となる道路の危険箇所等についてはまだ把握していません。安全に通学できるように、開校までに市と県の担当部署、加西警察と連携して通学路の点検を進めたいと考えます。

問 隣接する高校の自転車通学の現状は確認されたのか。

答 通学路が重なるため、高校から危険箇所の情報を収集

し、把握・共有を進めます。

問 検討委員会の在り方としてどのような課題があるのか。

答 委員数が多いため意見を出しづらいという声もありました。委員全員で決めるだけでなく、目的に合わせて部会方式としたり、テーマごとに話し合うことも必要になってくると思います。今後も協議内容に応じて活発に意見が出やすいよう、運営方法を工夫して進めたいと考えます。

要望 学校統合は、子供たち一人一人の人生に大きく影響があるということ。統合しても、小規模でのメリットを決してなくさないこと。これから何十年と続いていく統合中学校ですから、未来の時代に合った教育をしっかりと見定め、その上で統合中学校の中身の検討を強く要望します。